

公表 令和7年度 事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|-------------|
| ○事業所名 | ラポール発達教室Coral | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年11月1日 | | 2025年12月15日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 28 | (回答者数) 24 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年11月1日 | | 2025年12月15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 30 日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | [環境・体制整備]に関する項目において多くの保護者より良い評価を頂けた。当事業所は、感覚統合を活かした療育を行っている。そのため児にとって最適な環境を用意することに取り組んでいる。広い活動スペースと安全に配慮した環境設定を行っている。 | 利用者一人ひとりの感覚特性を知り、療育者が感覚刺激を調整(温度、光の明暗、音、最適な場所等)の配慮を行っている。また、子ども一人一人に目が届く配置や導線づくりを意識し活動のしやすさと安全性の両立を図っている。 | 環境設定の見直しを継続的に行い、成長や特性の変化に応じてより適切な空間づくりに努めていく。 |
| 2 | 当事業所は通所児童のことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門的な支援の提供を目指している。保護者より良い回答を頂けたことは、専門職員だけではなく、他の職員の療育知識と技術も評価されたと考えられる。この強みは当事業所の柱であり、今後もより専門性の高い支援を提供できるように努めていく。 | 理学療法士が、JSI-mini等の質問紙も活用し、感覚統合理論に基づいて身体機能を評価し、必要な支援を職員間で共有しながら支援に取り組んでいる。 | 一人ひとりの職員の成長が事業所全体の成長にも繋がるため今後も基礎知識・支援方法などを更に学び、どの支援員が担当しても専門支援員と同じ支援ができるようにトレーニングに動んでいく。さらに、専門性を高め、支援の質の標準化と向上を図っていく。 |
| 3 | 安心して預けられる環境と、子供が楽しみに通所している点について多くの評価を頂いた。専門職の観点からの介入と児が楽しめるような環境が満足度に繋がっていると感じる。 | 定期的な保護者との面談の中で介入前後の身体の使い方や活動の様子を動画を通してご覧いただきながら理学療法士が成長や今後の課題について説明させて頂く機会を設けている。 | 身体の成長や支援に関しては、保護者との共通認識やご理解が必要となる。そのため、保護者とのコミュニケーションの場や機械を増やし情報共有の充実を図っていく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 個別・小グループ療育を中心に展開しているため保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を得ることが難しい。 | 社会との繋がりはとても重要と考えているが、苦手な刺激を減らしながら集中できる環境の中でまずは、身体の土台作りが大切と考えている。 | 少しずつではあるが、事業所の外で支援を行うことも検討中である。来期は、保護者の同意も得て外の環境で身体を動かす経験を企画している。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

公表 令和7年度 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ラポール発達教室Coral

公表日 2026年 3月 30日

利用児童数 28名

回収数 24

| | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------------------|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 24 | | | | ・見学時とても広い印象を受けました。 | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 24 | | | | ・職員さんが多く手厚いと感じています。 | 基準人員より多く配置しております。また、学生による職場体験や研修の場となっておりますので協力をよろしく願います。 |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 21 | 1 | | 2 | ・送迎時玄関等も含めてとてもきれいで清潔感があります。 ・事業所の中を見たことがないので分かりません。 | お子様が安全にご利用いただけるよう室内は段差のないワンフロアで設計しております。また、広さに不安を感じるお子様には、扉などで仕切れるようになっております。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 23 | | | 1 | | 感染予防もあり療育が終了するたびに遊具や教材をすべて除菌しております。また、ボールプールも毎週除菌し、清潔さを保っております。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 21 | 3 | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 23 | 1 | | | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 24 | | | | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 24 | | | | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 24 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 21 | 3 | | | | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 | 15 | 3 | 6 | 10 | ・個別で通っているのでわかりかねます。 | 現在は、設けておりませんが、保護者のご意向も踏まえながら地域の場を使用した活動を検討していきます。 |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 23 | 1 | | | | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 23 | 1 | | | ・わかりやすく説明していただきました。 | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 22 | 1 | | 1 | ・仕事等でなかなか参加はできていませんが都合が合えば参加したいです。 | 保護者を対象にした感覚統合の体験会や父母の会での不器用についての講座を開くなど、ご自宅でもできる支援方法の共有をさせていただいております。 |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。 | 22 | 2 | | | ・利用の前後に日常での子どもの様子を伝えたり相談すると、発達に則った適切な答えがもらえます。ビデオで活動のイメージができるのがありがたく、家でもやれるものはやろうと参考になります。 | 玄関モニターを活用してお子様の頑張っている姿をご覧いただきながらお話しできる場を設けております。 |

| | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 22 | 2 | 1 | ・送迎時にもう少し話す時間があると良い。 | 送迎時は安全面や時間の制約もあり、限られたやり取りとなってしまう申し分ありません。必要に応じて家族支援を活用しながら、別途時間を設けることも可能となりますので気軽にお申し付けください。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 23 | | 1 | ・面談してたときに、途中から入室された先生から（普段接していない子供のこ）もいろいろアドバイスを受けたのは心外だった。 | お子様の成長を多角的に支えるため、多職種連携での視点を共有させていただきました。急な参加で驚かせてしまい申し訳ありません。お子さんの今の発達段階に合わせた関わりを一緒に考えたいという思いで参加させていただきました。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 19 | 3 | 2 | ・子供向けのイベント等がもう少しあるとうれしいです。 | 本年度は、コーラルでサッカー体験会や父母の会を実施しました。今後、もっとたくさん楽しめるようなイベントの開催を企画して参ります。 |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 23 | 1 | | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 21 | 3 | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 20 | 4 | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 23 | | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 20 | 1 | 3 | | 安全計画、虐待防止、BCP委員会を設置し、指針やマニュアルを作成しております。それに基づいて研修や訓練を行っております。保護者の皆様にはホームページやブログ等でお知らせしておりますのでぜひ、ご覧ください。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 21 | | 3 | ・週1の利用で、そこまで分らないです。 | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 21 | | 3 | | 万が一事故が起きた場合は、保護者へいち早く連絡し、適切な処置を受けられるよう病院への付き添いなどしかるべき対応を行います。また、保護者や要知照へ改善所の提出を行います。その他、ヒヤリハットの記入をして日々の事故防止に努めております。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 22 | | 2 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 24 | | | ・一度も嫌がった事ないです。 | ラポール発達教室Coralへのご理解ご協力を賜り大変感謝しております。ありがとうございます。お子様だけでなく保護者の方にも安心して通所していただきけるよう今後も努めて参ります。また、安全な環境の中で、やりたいことができる身体へと成長できるよう職員一丸となって思案して参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 24 | | | ・毎回とても楽しみにしています。 ・とても楽しく通っています。 ・明日ラポールねー！と前日はいつも楽しみにしています。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 22 | 2 | | ・満足しています。いつもありがとうございます。 | |

公表

令和7年度 事業所における自己評価結果

事業所名 ラポール発達教室Coral

公表日 R8 年 3月 30 日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|----|--|----|-----|---|-----------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | ガイドラインでは15畳以上を推奨されているが、Coralでは28畳確保しています。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | 週1度は会議を設けており、より良い支援が提供できるように改善に努めている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | 法人内での研修は多く、学べる機会が多い。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | | JIS-mini等の質問紙も活用しながら包括的な理解へと繋げています。 | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | 週1度は会議を設けており、個別支援計画、活動プログラムの立案を行っています。 | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---|---|--|---|---|
| 児 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | 理学療法士が、医学的・社会的視点から現在の身体能力を十分に評価し、それぞれの目標に向けて個別支援計画を案を作成します。その上で、職員会議で決定している。 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | | 療育後の振り返りは行われているが、今後は週1度の支援会議にて共有に努めていきます。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | | | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | | | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | | | | | |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | | | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 5 | 1 | | | 児童発達支援センターで行われる研修会には参加させていただいております。また、利用児が在住している児童発達支援センターの見学もさせていただいております。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | | | 6 | | 現在は、設けておりませんが、感染症の問題など緩和されてきておりますので、保護者のご意向も踏まえながら地域の場を使用した活動を検討していきます。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | | | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | | | | 保護者を対象にした感覚統合の体験会や父母の会での不器用についての講座を開くなど、ご自宅でもできる支援方法の共有をさせていただいております。 |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|----------------------|---|--|
| 保護者への説明等 | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 | | 保護者の会の活動は活発であり保護者同士で交流する機会を創造して頂いている。 | |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | | 「ラポール発達教室通信」にてお知らせ・発信を行っている。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 5 | 地域の障害者団体からの依頼を受けて講師派遣を行っている。 | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | | 法人内研修にて取り組んでいる。 | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | 法人内研修にて取り組んでいる。 | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 6 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | | | 食物を扱わないため非該当となるが、アレルギー、服薬等があれば個別ファイルに記載している。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | | 法人内研修にて取り組んでいる。 | |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | 事業所のみではなく、当法人の系列事業所も共有しながら再発防止に取り組んでいる。 | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | 法人内研修にて取り組んでいる。 | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 6 | | 記載した上で保護者への説明を行っている。 | | |

公表 令和7年度 事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|---------------|
| ○事業所名 | ラポール発達教室Coral | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年11月1日 | | ～ 2025年12月15日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 37 | (回答者数) 27 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年11月1日 | | ～ 2025年12月15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月30日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | [環境・体制整備]に関する項目において多くの保護者より良い評価を頂けた。当事業所は、感覚統合を活かした療育を行っている。そのため児にとって最適な環境を用意することに取り組んでいる。広い活動スペースと安全に配慮した環境設定を行っている。 | 利用者一人ひとりの感覚特性を知り、療育者が感覚刺激を調整(温度、光の明暗、音、最適な場所等)の配慮を行っている。また、子ども一人一人に目が届く配置や導線づくりを意識し活動のしやすさと安全性の両立を図っている。 | 環境設定の見直しを継続帝に行い、成長や特性の変化に応じてより適切な空間づくりに努めていく。 |
| 2 | 当事業所は通所児童のことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門的な支援の提供を目指している。保護者より良い回答を頂けたことは、専門職員だけではなく、他の職員の療育知識と技術も評価されたと考えられる。この強みは当事業所の柱であり、今後もより専門性の高い支援を提供できるように努めていく。 | 理学療法士が、JSI-mini等の質問紙も活用し、感覚統合理論に基づいて身体機能を評価し、必要な支援を職員間で共有しながら支援に取り組んでいる。 | 一人ひとりの職員の成長が事業所全体の成長にも繋がるため今後も基礎知識・支援方法などを更に学び、どの支援員が担当しても専門支援員と同じ支援ができるようにトレーニングに動んでいく。さらに、専門性を高め、支援の質の標準化と向上を図っていく。 |
| 3 | 安心して預けられる環境と、子供が楽しみに通所している点について多くの評価を頂いた。専門職の観点からの介入と児が楽しめるような環境が満足度に繋がっていると感じる。 | 定期的な保護者との面談の中で介入前後の身体の使い方や活動の様子を動画を通してご覧いただきながら理学療法士が成長や今後の課題について説明させて頂く機会を設けている。 | 身体の成長や支援に関しては、保護者との共通認識やご理解が必要となる。そのため、保護者とのコミュニケーションの場や機械を増やし情報共有の充実を図っていく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 個別・小グループ療育を中心に展開しているため保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を得ることが難しい。 | 社会との繋がりはとても重要と考えているが、苦手な刺激を減らしながら集中できる環境の中でまずは、身体の土台作りが大切と考えている。 | 少しずつではあるが、事業所の外で支援を行うことも検討中である。来期は、保護者の同意も得て外の環境で身体を動かす経験を企画している。 |
| 2 | 研修や相談の機会について「わからない」という回答が多く、周知が不十分であった。 | 研修や相談の機会自体は設けているもの、案内方法や伝達のタイミングにばらつきがあり、保護者へ十分に認識されていない可能性がある。 | LINEやお便り等を活用し、定期的かつ分かりやすい形で情報発信を行う。また、送迎時の声掛け等も含めて複数手段で周知を強化し参加しやすい環境づくりを進めていく。 |
| 3 | | | |

公表 令和7年度 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ラポール発達教室Coral

公表日 2026年 3月 30日

利用児童数 37名

回収数 27

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
|--|---|----|---------------|-----|-------|--|---|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 26 | 1 | | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 27 | | | | ・子どもの安全面についてもよく見て下さっていると感じます。 ・手厚くしてもらっている。 | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 27 | | | | ・沢山の器具があるが、情報がありすぎないような配置にしている。 ・とても整備が整っていて、刺激も少なく、分かりやすい集中できる環境になっています。 | お子様が安心してかつ、安全に活動ができるよう努めております。今後もお子様が能動的に身体を動かせるような環境づくりに徹してまいります。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 27 | | | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 26 | 1 | | | ・苦手な動きが軽減し、運動を楽しめるようになってきた。 ・研修も多く実施され、専門性の高いスタッフさんが多いと感じます。 | 子ども一人ひとりの特性や発達段階を評価し、理学療法士の専門的視点から運動面や感覚面に着目した支援を行ってまいりました。今後も専門性に基づいた支援の質の向上に努めてまいります。 | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 27 | | | | | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 26 | | | | 1 | ・毎回丁寧にヒアリングをして下さっています。 ・定期的に見直し、評価がされており、子どもの成長に合わせて目標が立てられていると感じます。 | 療育方針にご理解いただきありがとうございます。保護者様のニーズを踏まえ、多職種が連携し、子どもの特性や発達段階を5領域の視点から多角的に捉え、検討を重ねながら個別支援計画の作成に努めております。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 26 | | | | 1 | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 26 | | | | 1 | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 25 | 1 | | | 1 | ・新しい設備や遊具が時々入るなど、子どもが興味を持ち続けながら楽しく学べるように、よく工夫されていると思います。 ・その日の調子に合わせてくれる。 ・様々なアプローチをして支援されていると感じます。 | 理学療法士が中心となりお子様の成長に合わせて能動的に身体を使うことができるようプログラムを作成しております。 |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 6 | 2 | 5 | 14 | | ・聞いた覚えがない | 現在は、設けておりませんが、感染症の問題など緩和されてきておりますので、保護者のご意向も踏まえながら地域の場を使用した活動を検討していきます。 |
| 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 27 | | | | | ・とても丁寧な説明で納得できます。安心して預けられると感じます。 | | |
| 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 27 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 24 | | | 3 | ・研修会に参加できず、残念ですが、定期的に行われているのでチャンスがあれば聞きたいです、内容もとても興味のあるものばかりです。 ・左記の研修会、知りませんでした。知っていたら、参加したかった。 | 保護者を対象にした感覚統合の体験会や父母の会での不器用についての講座を開くなど、ご自宅でもできる支援方法の共有をさせていただいております。 | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 26 | 1 | | | ・悩みなどを話すとすぐに共有され、支援して下さり、とても安心感があります。どのような手立てがあるか、どのようなサービスがあるか細かく伝えてくださるのでとても参考になります。 | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 25 | 2 | | | | ・相談援助知らなかった。機会があれば受けてみたい。 | 子育てサポートや家族支援制度など随時活用していただけますので、遠慮なくご相談ください。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 24 | 1 | | 1 | 無回答1 ・一緒に考えてくれる頼りになる存在で、心強いです。 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 23 | 1 | | 2 | 無回答1 ・(アドバンスでお声掛けいただく会でしようか?)もう少し回を増やして欲しい。 | 本年度は、コーラルでサッカー体験会や父母の会を実施しました。今後、もっとたくさん楽しめるようなイベントの開催を企画して参ります。 | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 24 | | | 2 | 無回答1 ・相談などの機会も設けて下さるので、ゆっくり話ができて心がほっとしたり、励まされたりできます。 ・相談をした事がないのでよく分かりません。(コーラルで) | ご相談いただき、情報を共有をしていただけで適した支援へとつなげることが出来ます。今後もお話をお伺いできる機会を設けていきたいと思っています。 | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 25 | 1 | | | 無回答1 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 24 | 1 | | 1 | 無回答1 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 23 | 1 | | 2 | 無回答1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 23 | 1 | | 2 | 無回答1 | 安全計画、虐待防止、BCP委員会を設置し、指針やマニュアルを作成しております。それに基づいて研修や訓練を行っております。保護者の皆様にはホームページやブログ等でお知らせしておりますのでぜひ、ご覧ください。 | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 26 | | | | 無回答1 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 25 | | | 1 | 無回答1 | 万が一事故が起きた場合は、保護者へいち早く連絡し、適切な処置を受けられるよう病院への付き添いなどしかるべき対応を行います。また、保護者や愛知県へ改善所の提出を行います。その他、ヒヤリハットの記入をして日々の事故防止に努めております。 | |
| | 26 | 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 23 | 1 | | 2 | 無回答1 | | |

| | | | | | | |
|-------------|----|----------------------|----|---|---|--|
| 満 足 度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 25 | 1 | <p>無回答1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回療育に行くことをとても楽しみにしています。また、お友だちと関わることも増えてきており嬉しく思います。少しずつではありますが成長を感じられ、いつも本当に感謝しています。 ・身体を動かすのが好きで、一对一の感 じてもらえ、本人も安心して楽しく 過ごしている。 ・通い始めて、自身の気持ちを振り返っ たり、どんなことが得意なのか自信を もったりすることができました。毎回行 くたびに笑顔で「こんなことをした」 「～だったのがくやしい」と伝えてくれ ます。子どもの成長やありのままの姿を 受け止めてくれる、喜び合えるラポール さんには感謝しかありません。 ・4月よりグループが変わり不安な様子 もありましたが、先生方のフォローもあ り、楽しく活動できるようになりました。 | ラポール発達教室Coralへのご理解ご協力を賜り大変感謝しております。ありがと うございます。今後もお子様安心して 通所していただき能動的にやりことがで きる身体へと成長できるよう職員一丸と なって尽力いたします。今後も「もっと やりたい!」と思える支援を続けていけ るよう努めますのでよろしく願いま す。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 25 | 1 | <p>無回答1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝「今日はコーラル?」と聞いて学校 に行って、帰ってきます! ・先生の名前を呼んで、次に行く日を楽し みにしています。 ・とても楽しそうに通所しています。 ・カレンダーを自分で見てキッチンと行く 日を理解しています。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 25 | 1 | <p>無回答1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターザンロープをやれるようになった など、目を見てわかるものもある。 ・安心して通わせていただいています。 本当にありがとうございます。 ・もう少し通いたい(月2又は1) | |

公表 令和7年度 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | ラポール発達教室Coral | | | | 公表日 | R8 年 3 月 30 日 |
|---------|---|---------------|-----|---|---------------------------------------|-----|---------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | ガイドラインでは15畳以上を推奨されているが、Coralでは28畳確保しています。 | | | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | | | | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | | | | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | | | | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | | | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | | 週1度は会議を設けており、より良い支援が提供できるように改善に努めている。 | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | | | | | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | 法人内での研修は多く、学べる機会が多い。 | | | |
| 適切な支援 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | | | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 6 | | | | | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | | | | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | | JIS-mini等の質問紙も活用しながら包括的な理解へと繋げている。 | | | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | | | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|----|--|---|---|--|--|--|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | 理学療法士が、医学的・社会的視点から現在の身体能力を十分に評価し、それぞれの目標に向けて個別支援計画を案を作成します。その上で、職員会議で決定している。 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | | | 療育後の振り返りは行われているが、今後は週1度の支援会議にて共有に努めていく。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 6 | | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 6 | | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 1 | 無回答1 | | 保護者や外部機関からの依頼があれば、必要に応じて、連携する体制を準備している。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | | | | 送迎等は行っていないため学校との情報交換の機会が少なく感じている。しかしながら同系列事業所に保育所等訪問支援事業所があるため必要であれば繋げていけるように心掛ける。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 5 | 1 | | | 現状、対象となる児童がいらないため必要に応じて行っています。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | | 6 | | 現在は、設けていないが、感染症の問題など緩和されてきておりますので、保護者のご意向も踏まえながら地域の場を使用した活動を検討していく。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | | | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | | | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|----------------------|---|---|
| 保護者への説明等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 6 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 1 | 保護者の会の活動は活発であり保護者同士で交流する機会を創造して頂いている。 | 本年度は父母の会で就学相談会の開催や就学期の取り組みなどお子様の将来を見据えた講座などを開催いたしました。保護者同士の交流もしていただけます。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | | 「ラポール発達教室通信」にてお知らせ・発信を行っている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 6 | 地域の障害者団体からの依頼を受けて講師派遣を行っている。 | 個別療育、小集団療育のため希望される保護も少なく、地域からのご要望もないため、今後は必要に応じて検討をしていきます。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | | 法人内研修にて取り組んでいる。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | 法人内研修にて取り組んでいる。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 6 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | | | 食物を扱わないため非該当となるが、アレルギー、服薬等があれば個別ファイルに記載している。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | | 法人内研修にて取り組んでいる。 | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | | 法人内研修にて取り組んでいる。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | 事業所のみではなく、当法人の系列事業所も共有しながら再発防止に取り組んでいる。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | 法人内研修にて取り組んでいる。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | | 記載した上で保護者への説明を行っている。 | | |